



「お取越の荘厳」

お取越では中尊前（阿弥陀如来）、祖師前（親鸞聖人）の前には立花、燭台が対となって備えられます。（五具足）

二年ぶりにお取越報恩講が催されました。今年はお齋がないので、例年に比べれば、少し楽かなと思いきや、終わってみれば、心身ともにぐったりして、やっぱり大変な行事だと改めて感じました。

私はこのお寺に入寺するまで「お取越」という行事があることすら全く知りませんでした。ところが初めてお取越にお参りした時、大勢のお坊さんが声を張り上げて勤める法要に圧倒されて、鳥肌がたつほど感動をした記憶があります。

最近、真宗学院というお寺の学校

真宗大谷派

願興寺だより

第81号

2021年（令和3年）

8月1日発行

発行者
願興寺

長岡市関原町1丁目1019

〒940-2035

TEL 0258-46-2316

FAX 0258-46-7499

<https://gankouji.org/>



巻頭言

お取越の大切さ

願興寺坊守 高橋智美

で、お取越で読まれる正信偈を練習しているのですが、実際にそれを習ってみると決して簡単に覚えられるものではありません。そんな大変な勤行を声が枯れるほど一生懸命勤めて下さっているわけですから、参動いただいているお寺さん方には頭が下がります。

お取越は私たちの力だけでは勤まりません。お寺さん方や、今回は用意できませんでしたが、お齋の準備するお勝手の方々、準備や参詣者の接待などをこなす役員の方々、そして都合をつけて足を運んで下さる参詣者の方々。様々な人々のお力添えによって年一回のお取越が勤められています。本当にありがたいことだと思えます。

今年には感染対策のため、お寺さんもマスクを着用し、座の間隔も空けての勤行でした。それでもお取越の迫力あるお勤めは、毎回心を打つものがあります。それは多くの方々の思いが結集しているからかもしれない。

お盆やお彼岸などと違い、なかなか馴染みのない行事かもしれませんが、一度足を運んでいただき、迫力のある法要にふれていただければと思います。

報告 2021年 お取越報恩講

五月二十六日、二十七日の二日間に渡り、お取越報恩講が勤まりました。お取越は親鸞聖人の生涯を振り返り、その教えを聞いていく、浄土真宗のお寺にとってとても大切な法要です。昨年は新型コロナウイルスの影響などでお休みしたので、二年ぶりでしたが、二日間で約八十名の方からお参りいただきました。

お取越の醍醐味は大勢のお坊さんによる、迫力のある勤行です。今年はマスクを着用して行われましたが、お参りいただいた方からも「やっぱりお取越のお勤めには感動する」との声もいただきました。

法話は、柏崎市受徳寺住職の井上正師にお願いしました。井上師は穏やかな語り口で、自身の経験を交えながら、大切なことを私たちに問いかけられました。

私とお寺との関わり

私は名古屋の生まれです。祖父が自分の育った寺を継がずに出てしまっていたので、お寺の出身ではありません。

名古屋はもともと真宗の盛んな地域です。御華束講を作って本山に供える活動や本山のすす払いに奉仕する清浄講などの活動が行われています。

私が学生だった頃に祖父が亡くなり、その葬儀で知り合ったご住職と懇意になりました。誘われるがままにお寺の報恩講にお参りした時、聴聞者があまりに多かったのに驚かされました。そしてその後、得度して僧になりました。私が得度して間もない新米坊主だったころ、あるお宅の月参りに行くのが早すぎたんです。お勤めの最中に救急車の警告音が聞こえ、やがて電



井上正師



お取越法話要旨

話が鳴って、おばあちゃんが亡くなったという知らせです。家人からはこのあと枕経もしていつてくれ、と頼られました。さすがにその時は断って帰りましたが、同時に、お坊さんの仕事って何なんだろうという問も生まれました。「お寺とどてらは冷たくならなきや縁がない」とも言われま



思い込みから

自由に視点を変えて

「くじらの肉で精進料理を作りなさい」と言われたら

どうですか？ええっ、クジラの肉で精進料理？でも大丈夫、くじらの肉を売って、野菜を買って作ればいいのです。視点を変えれば、自ずと答えは見えてくるでしょう。

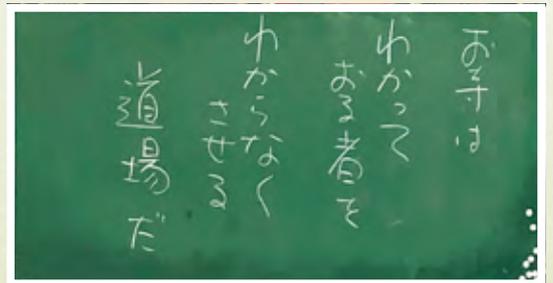
詩人金子みすゞは『大漁』の詩で「大場いわしの大漁だ 浜は祭りのようにだけ 海の中では何

万のいわしの弔いするだろう」と表現しています。私たちは自分の立場や自分の思いから何事も見てしまい、相手の立場に気づきません。

そのことを、相田みつをは「損か得かは自分の物差し」と言っています。

節分では「鬼は外、福は内」と言って豆まきをします。鬼は、言うなれば自分にとって都合の悪いこと、福は自分にとって都合のいいことです。

このように、人は自分の思



真宗は人生の要

親鸞さんは、自ら愚禿親鸞と名乗りました。自らを愚かだと。

自分の思い通りを願う、己の愚かさへの自覚がこう名乗らせたのです。

そうして始まった浄土真宗の教え、真はまこと、宗はむね、すなわち要を意味します。

私たちの人生は、決して思い通りに進むものではありません。幾多の苦難の中で、「これが私の人生」と思えるのは、

い通りの生活、人生を願うものでも、自分の思い込みや思い通りって、普段自分では意識しないのでわからないのです。

人生の要があつたからでしょう。真宗は、その要になるものです。親鸞さんの愚禿の名乗りとともに、要となる、自分の愚かさの自覚を思い起こすための場こそが、本日の報恩講です。"死んだ人の仏教"という思い込みから自由になって、人生の要を見つめなおす報恩講にしたいと思います。

(中島美代子 聞書き)



例年であれば、タケノコやワラビなどの旬の山菜を使つたお斎(昼食)もお取越の楽しみの一つですが、密を避けるため、お持ち帰り用のお弁当を用意しました。新型コロナウイルスによる影響で、出来ることも限られています。お取越報恩講という大切なご縁を絶やさないうよう、努めていきたいです。

報告 お茶会

毎年恒例となりました「願興寺お茶会」
が去る六月二十一日に開催されました。



昨年に引き続き、新型コロナウイルス
感染予防のため、茶席の数を減らしてい
ましたが、ありがたいことに用意してい
た席がすぐに埋まりました。

また当日は、前日までの雨から変わっ
て晴天となり、逆に前日降った雨のおか
げで庭の緑が引き立ちました。



参加された方からは
「新型コロナウイルスの
影響でどの茶席も中止に
なり、このお茶会を楽し
みにして来ました」とい
う声もいただきました。
まだまだ不安な状況は
続きますが、皆様の心休
まる時間となるよう、今
後もお茶会は続けていき
たいと思います。



(5)



昨年より始まった「初めてのヨガ教室」ですが、月一回のペースで開催させていただいております。

参加人数も多い時で十三名ほど。毎月お休みなく参加の方、都合のつく月のみ参加の方、初めて参加の方もいらっしゃいますが、毎回和気あいあいとしてとてもいい雰囲気です。

ヨガ教室のご案内



都度いろんな発見がありますが、ある時は、足の指一本一本をしっかりとマッサージ！するとマッサージした方の足の甲の辺りが真っ白になりました。不思議ですよ。血行がよくなると美白されるのでしょうか？



とにかくいつも冗談言い合って笑いながらあつという間の一時間です。終わる頃には体もポカポカ。

毎回、最後に横になって目を閉じながら一ヶ月の間で楽しかった出来事を思い出す瞑想の時間があるのですが、普段の喧騒から離れてゆっくり考えることができるので、個人的にはこの時間が大好きです。

講師の先生も優しく丁寧に教えて下さるので、ぜひ皆さんも気軽に参加下さい。

(坊守 高橋智美)



今後の予定

- 参加費 五〇〇円(一回)
 - 持ち物 タオル
- | |
|------------|
| 八月三十一日(火) |
| 九月二十八日(火) |
| 十月二十七日(水) |
| 十一月三十日(火) |
| 十二月二十一日(火) |
- 午後一時半〜
- ※予定を変更することがあります。



法話「ナー」

『仏説無量寿経』

について ②

《原文》

それ衆生ありて、この光に遇えば、三垢消滅し、身意柔軟にして、歡喜踊躍し善心を焉に生ず。もし三塗・勤苦の処にありてこの光明を見たてまつれば、みな休息することを得て、また苦惱なげん。寿終わりて後、みな解脱を蒙る。

《現代語訳》

【この光に遇う衆生がいれば、三種の思い煩悩は消滅し、身も心も穏やかになって、喜びにあふれ躍り上がり、善い心を生ずるのである。もし地獄・餓鬼・畜生の苦、また疲れ苦しむ状態にあつて、この光明を見れば、だれもみな、心を休めることができ、それ以上、苦惱することはない。寿命が尽きてのち、解脱をうけることになるであろう。】

「三垢消滅して」

「三垢消滅し」の三垢は、最も激しく人々の心を悩ませる煩悩をいいます。三つの汚れ、垢。これは実は「三毒煩悩」といいます。煩悩の中で最も深刻なものを三つあげるのですが、「貪欲」むさぼるような欲望、「瞋恚」怒り憎む心、「愚痴」愚かであること、この三つを三毒煩悩というのですが、これを三垢とも言います。そのような三垢が消滅すると説かれています。

つまり阿弥陀仏が放たれている「十二の光」といわれるような、そういう智慧のはたらきに我々が出遭うことができたならば、自分たちの心の中にあつてどうしても取り去ることが出来ない三毒の煩悩が消滅するんだ、というふう述べられているわけです。

「身意柔軟」

体と心が柔軟、やわらかい

という意味ですが、穏やかに、おおらかになるということでしょうかね。

「三途」

三途とは「三悪道」とも言いまして、地獄・餓鬼・畜生という状態ですね。それにあと三つあつて、阿修羅・人・天を合わせて六道といえます。特に地獄・餓鬼・畜生は非常に哀れな状態なんです。

前にお話ししましたが、地獄とかいう場所がどこかにあるわけではなく、これは全部、私たちが経験する状態なんです。地獄のような経験をすることあり、餓鬼のような経験も、畜生のような経験も、一日や一生のうちに何度も何度も数えきれないほどの経験を、それが人生ですね。地獄は耐えられないような苦しみの状態。餓鬼というのは欲望に支配された状態ですね。畜生とは本能に支配さ

れている状態。いずれも人間としては困った状態、それが「三途」です。

「寿終わりて後、みな解脱を蒙る」

寿終わりて後というふうに書いてありますが、別に命が終わるまで待つ必要はないんです。最低でも、命が終わればということでしょうか。

仏教の教えは命が終わってからどうしようということではなく、命が終わるまでにどうしようかと、どうなればいいのかを教えているんですね。ただお経にはしばしば生きている間は無理だろうから、いまの生き方にこだわりがなくなれば、解脱を得られると。それを「寿終わる」と表現しているようです。つまりこの生き方にこだわりがなくなればという意味あいのようなのです。

古田和弘師講述

『仏説無量寿経』より抜粋

ご案内 秋季彼岸法要 永代供養墓「清風精舎」の合同

左記の日程にて秋季彼岸法要が勤まります。併せて今年より永代供養墓「清風精舎」の合同法要を勤めさせていただきます。この度は少し趣向を変えて、法要後にミニコンサートを予定しております。ご多用中とは存じますが、お誘い合わせの上、お参り下さい。

記

■日程 九月十九日

- 午前九時……受付
 - 午前九時半……永代供養墓合同法要
 - 午前十時……秋季彼岸法要
 - 午前十時半……法話
 - 午前十一時……ミニコンサート
 - 正午……終了
 - お斎(昼食)はお持ち帰り用のお弁当をご用意いたします。
- 以上

願興寺のホームページ を開設しました



<https://gankouji.org/>

新たに願興寺のホームページを開設いたしました。お寺の概要や行事案内、また永代供養墓についての情報などを掲載しています。良かったらご覧になって下さい。



仏事二回メモ

— 御仏前と
御布施について —

お寺での仏事・ご家庭での仏事などの際に包みものの表書きをどのように書けばよいのか悩む時があるのではないのでしょうか。

まず一般的な真宗門徒のお葬式やご法事の時には、「御仏前」と「御布施」の二種類の包みを用意いたします。最近では二つとも「御布施」としてまとめてしまう方も多のですが、正式には「御仏前」と「御布施」と分けて用意するのが作法です。それはお寺の本堂で勤める法事や葬儀であっても、自宅や葬儀場などで勤めるものであっても、同様であります。

では「御仏前」とはいつたい何を意味しているのか。元々、御仏前とは仏様(阿弥陀仏)の前に備えるもの。もう少し簡素な表現をすれば、仏様に対する御礼と

言った方が解りやすいかも知れません。

新潟県の真宗門徒の葬儀や法事では必ず、御本尊(阿弥陀仏が画がれた掛け軸)をお寺に迎えにいき、自宅などの床の間にお飾りして仏事が勤められてきました。これは全国的にも珍しい風習であります。そのため、わざわざお寺から阿弥陀仏がお越し下さることへの気持ちを含めて「御仏前」が包まれたわけでありませ

す。ですから「御仏前」とは、阿弥陀仏へのお礼、また御本尊を下ろされるお寺へのお礼。「御布施」とは儀式を勤める僧侶へのお礼として、二種類の包みがあるのです。

教化布教部長 長谷川勇

願興寺 秋の旅

赤倉温泉と有縁講の旅

「心が濁れば、行いも汚れ、
行いが汚れると、苦しみを
避けることができない。
心を清め、行いを慎むことが
人間としての要である」

仏教聖典より

昨年は新型コロナウイルスの影響でお休みしましたが、今年
は下記の日程で、赤倉ホテルで
開催される有縁講に参加いたし
ます。有縁講は法話を聞き、温
泉につかって、多くの人たちに
身や心を癒してもらうために開
かれる会です。

稲刈りなどの農作業もひと段
落して、年末の慌ただしさを迎
える前に、ゆっくり体を休める
ひと時となればと思います。

期日

二〇二二年十一月二十四日(水)
二十五日(木)

参加費

二二,〇〇〇円 *当日徴収します

申込み

申込書もしくはお電話にてお申し込み下さい。

日程(予定)

● 十一月二十四日(水)

午前九時半 願興寺集合・出発(バス)
午前十一時 昼食(「食堂ミサ」
上越市中郷)

午後十二時半 赤倉ホテル到着

午後一時 〃 勤行・法話

午後三時 〃 自由時間(入浴など)

午後五時半 〃 夕食・懇親会

※懇親会では、劇団による演芸やカラオケが
あります。

● 十一月二十五日(木)

午前七時半 〃 勤行・法話

午前八時半 〃 朝食

午前九時 〃 自由時間(入浴など)

午前十一時半 赤倉ホテル出発(バス)

午後十二時半 〃 昼食(米山SA)

午後二時頃 〃 願興寺到着予定

*尚、新型コロナウイルスの感染状
況などによっては、中止もしくは
日程を変更することがありますの
でご了承下さい。



2021年上半期 行事報告

2021年1月～2021年6月

- 1月1日 修正会
- 2日 年頭法会
- 4日 寺年始
- 19日 初めてのヨガ教室

- 2月7日 会計監査
第1回役員会
- 16日 初めてのヨガ教室

- 3月2日 事務局（彼岸法要案内発送）
- 20日 春季彼岸法要・帰敬式
- 30日 初めてのヨガ教室

- 4月20日 初めてのヨガ教室
- 26日 護持会費（前期）納入日

- 5月9日 第2回役員会
- 18日 初めてのヨガ教室
- 26日～27日
お取越報恩講
講師 井上 正 師

- 6月20日 願興寺お茶会
- 22日 初めてヨガ教室
- 27日 第3回役員会
- 30日 事務局（盆参等案内発送）



2021年下半期 行事予定

2021年7月～2021年12月

- 7月6日 お経会①
- 20日 お経会②
- 27日 盆参 講師 松野秀則 師
- 28日 初めてのヨガ教室

- 8月1日 盆参 講師 高橋深恵 師
- 7日 盆参 講師 今泉温資 師
- 10日 お経会③
- 13日 盂蘭盆会（～16日）
- 18日 墓地清掃（お盆片づけ）
- 24日 お経会④
- 31日 初めてのヨガ教室

- 9月7日 お経会⑤
- 19日 秋季彼岸・
永代供養墓合同法要
- 21日 お経会⑥
- 28日 初めてのヨガ教室

- 10月5日 お経会⑦
- 19日 お経会⑧
- 27日 初めてのヨガ教室

- 11月2日 お経会⑨
- 14日 永代経法要
- 16日 お経会⑩
- 24日～25日
願興寺秋の旅行
赤倉ホテル 有縁講
- 30日 初めてのヨガ教室

- 12月初旬 第4回役員会
- 21日 初めてのヨガ教室
- 31日 除夜の鐘

おくやみ

令和三年一月、
令和三年五月

ご生前のご功労を偲び、
謹んで哀悼の意を表します。

■ 一月十一日 関原南
寺塚理恵子 七十四歳

■ 一月十四日 柏崎

杉本ハツイ 九十歳

■ 一月十五日 沢下條

丸山恵津子 七十九歳

■ 一月二十七日 西山

若月傳松 九十一歳

■ 一月二十八日

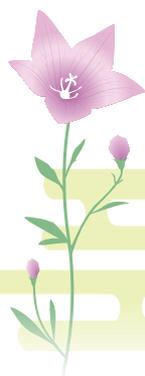
黒木藤子 九十九歳

■ 二月二十三日 上除西

太刀川 保 八十六歳

■ 二月十四日 関原南

佐藤ミツイ 八十五歳



■ 二月二十四日 喜多町

小片 勇 八十三歳

■ 三月十二日 刈羽

丸山勤子 六十六歳

■ 四月一日 来迎寺

関谷チイ 九十二歳

■ 四月五日 関原町一

高橋ミサ 九十一歳

■ 四月二十九日 関原町三

藤塚カツ 九十三歳

■ 五月八日 上越

浅野由美子 七十三歳

お経会のご案内

お経会は、復習から始まり
ゆっくり丁寧に進めています。
午後七時三十分からですので、
お仕事帰りや夕飯後の空いた
時間に練習してみませんか？
皆様のご参加をぜひお待ちし
ております。

第十七期お経会 予定

- 第一回 七月六日(火)
 - 第二回 七月二十日(火)
 - 第三回 八月十日(火)
 - 第四回 八月二十四日(火)
 - 第五回 九月七日(火)
 - 第六回 九月二十一日(火)
 - 第七回 十月五日(火)
 - 第八回 十月十九日(火)
 - 第九回 十一月二日(火)
 - 第十回 十一月十六日(火)
- ▼隔週火曜(全十回予定)
▼午後七時三十分〜九時
▼事前申し込み不要

編集後記

もうすぐお盆の時期となり
ます。昨年は、帰省された方
が少なく、また密をさけるた
めなるべく少人数でお参りに
来られたので、お墓参りも混
み合うことがほとんどありま
せんでした。さて今年はどう
でしょうか。

新型コロナウイルスの影響
で、地域の寄合いや忘新年会、
お祭りなどの中止。また冠婚
葬祭においても必要最低限の
人数で執り行うなど、それぞ
れのつながりを確かめる場が
失われ、これまで以上に人間
関係が希薄になってきたよう
にも感じます。

お盆もまた亡くなられた
方々とのつながりを確かめる
時間ではありますが、このよう
な状況が続いていけば、その
ような時間さえ失われ
ていくのではないかと
危惧します。

編集委員 高橋 深恵

